

これは、2009年11月16日にダイムラーAGから発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。

## お知らせ

Press Information

# ダイムラーAGとマクラーレングループ F1 の協力体制を変更

2009年11月17日

- ・ **ダイムラーAGとマクラーレングループのF1世界選手権における協力体制を変更し、メルセデス・ベンツは2010年シーズンより単独で参戦**

ダイムラーAGはアーバル・インベストメンツPJSC\*とともにブラウンGPチームの75.1% (ダイムラー45.1%、アーバル30%)の株式を取得することとなりました。残りの24.9%の株式は現行の株主が保有することとなります。なお、この取引はEUおよびスイスカルテル当局の承認後に成立する予定です。

今回の決定の背景にはF1の規約変更があります。フォーミュラワン・チームズ・アソシエーション (Formula One Teams' Association、FOTA) と、統括団体の国際自動車連盟 (Federation Internationale de l'Automobile、FIA) が打ち出したコスト削減策はレーシングカーの車両設計、製造、走行にかかる経費を効率よく抑制することとなり、さらに、新コンコルド協定の商業的権利により、参加チームは従来に比べはるかに高い収入が見込まれます。

マクラーレンとメルセデスのパートナーシップは、1995年に始まり、15年目の2009年F1シーズンをもって終了します。双方の合意により協力の形態は変わりますが、協力関係は今後も継続し、ダイムラーは2015年までマクラーレンにエンジンを供給します。

マクラーレングループは主に自動車分野において新たな目標を設定しており、ダイムラーはこの戦略的目標を尊重し、所有するマクラーレンの株式40%をマクラーレンが2011年までに全て買い戻すことで合意しています。

この決定により、メルセデス・ベンツは世界で最も有名なレーシングカーであるシルバー・アローの75周年という節目に、輝かしいモーターレースの歴史を再開することとなります。メルセデスは、あらゆる年代のレースで勝利してきたシルバー・アローの伝統を継承することを目指します。

ダイムラーAG CEO 兼 メルセデス・ベンツ カーズ統括のディーター・ツェッチェは「メルセデス・ベンツは世界で最も評価され、有名な高級車ブランドです。このブランドは、究極の品質を競う様々な分野の競争に参加し、新しい課題に挑戦することで継続的に性能を向上させています。F1の新たな時代に、我が社の新しいシルバークラス・アロー ワークスチームは、この最も重要なモータースポーツの舞台で戦うこととなります」と述べ、「新しいチームは偉大なスポーツであると同時に技術的なチャレンジにスポーツ精神と情熱をもって果敢に挑戦します」と加えました。

メルセデス・ベンツはF1のプログラムを再構築し、より一層のコスト削減と効率向上に努めます。

マクラーレンとメルセデス・ベンツはパートナーを組んだ 1995 年以來 256 回グランプリに参戦し、60 回優勝しています。このドイツ-イギリスのチームは 1998、1999、および 2008 年にドライバーズタイトルを獲得、1998 年はコンストラクターズタイトルも同時に獲得しました。また準優勝については 10 回、ドライバーズで 5 回、コンストラクターズで 5 回獲得しています。

昨年ルイス・ハミルトンがドライバーズタイトルを獲得した後、ボードフォン マクラーレン メルセデスはコンストラクターズタイトルで 3 位に入賞しました。現行の車 MP4-24 は 2008 年に 2 回優勝し、エネルギー回生ブレーキシステムである KERS ハイブリッドを搭載して初めての歴史的な勝利を収めました。ルイス・ハミルトンはシーズン中 17 レースのうち後半 8 レースで最高得点を獲得しました。

ダイムラーAG の CEO 兼社長ディーター・ツェッチェは、「15 年に亘り、多大な協力をいただいたマクラーレンに感謝します。メルセデスとマクラーレンはお互いの利益のためにもパートナーとしての協力体制を継続します。サーキットではライバルですが、サーキットの外ではマクラーレンそして他のライバルチームと共に、世界の観客のために最高のプロダクトを創り出していきます。」と述べました。

メルセデス・ベンツ・モータースポーツ副社長のノルベルト・ハウグは、「15 年来にわたるマクラーレンとの素晴らしいパートナーシップを振り返ると、世界選手権で 4 回の優勝、ドライバーズタイトルとコンストラクターズタイトルで 10 回も準優勝を達成し

ています。1997 年のオーストラリアグランプリ以来、現代に蘇ったシルバー・アロー Page 3  
は 223 レースで 60 回優勝し、メルセデス・ベンツのシンボルであるスターがフォーミ  
ュラワンで成功を収めることを立証してきました。パートナーのマクラーレンに感謝し、  
これまでの素晴らしいパートナーシップをベースに協力を続けます。」と述べました。

ブラウン GP チームはメルセデス・グランプリと改名し、引き続きロス・ブラウン氏がリ  
ーダーシップをとる予定です。このフォーミュラワンチームはメルセデス・ベンツ・モ  
ータースポーツのもと、同じくノルベルト・ハウグが副社長として率いるメルセデス・ベ  
ンツ ハイパフォーマンスエンジンとの連携を図ることになります。

「ブラウン GP はこの 12 ヶ月信じ難いような行程をたどってきました。生存競争に打  
ち勝つために戦い、メルセデス・ベンツ ハイパフォーマンスエンジンと強力な関係を  
築き、コンストラクターズ、ドライバーとともに優勝を果たしました。そしてこの度、ダイ  
ムラーとアーバルのオファーを受け入れることにより、将来を確固たるものにしたの  
です。」とチームプリンシパルのロス・ブラウン氏は、結果的には大成功に終わった  
シーズンの厳しかった当初を振り返って語りました。

「私とブラウン GP のディレクター達は我々のスタッフ、ドライバーおよびチームに関  
わった全ての人たちを誇りに思います。彼らのコミットメントに対して感謝します。  
素晴らしいチームワークと集中力により、厳しい状況ながら優秀な結果を出すことが  
できました。シニアマネージメントチームは引き続きチームを率いますが、メルセデ  
ス・ベンツのような高名なブランドを代表して来季フォーミュラワンに参戦できること  
を名誉に思います。信頼に報いるよう皆でベストを尽くします。」と続けました。

新しいシルバー・アローチームとなるメルセデス グランプリは、独立したワークス チ  
ームとしてフォーミュラワンに参戦します。イギリスのブリックスワースに拠点をおくダ  
イムラーの 100%子会社メルセデス・ベンツ ハイパフォーマンスエンジンは、ブラッ  
クレイにあるメルセデス グランプリと 28 マイルしか離れていないため、さらなるシナ  
ジー効果を発揮できるようになります。

「フォーミュラワンのためにレーシングカーを開発することが我々の目標です。当初  
は大幅に削減したメルセデス・ベンツの予算で運営されますが、近い将来自力で資  
金を調達できるようになるでしょう。」とノルベルト・ハウグはコメントしました。「また、

世界中で観戦する熱心な観客やテレビの視聴者をレースで元気付けたいというの Page 4  
はもちろんのこと、ブランドの露出も最大限に図りたいと思います。メルセデス・ベンツは、世界を舞台にする最も重要なモータースポーツ競技フォーミュラワンで、競い、勝つ意欲があることを明確に打ち出していきます。」とも述べています。

アーバル・インベストメンツの会長 Khadem Al Qubaisi 氏は、「アーバルは喜んでダイムラーと世界に名だたるブランドメルセデス・ベンツとともに、成功という伝統を長年継承する有名なシルバー・アローズの足跡をたどるフォーミュラワンチームを新しく立ち上げることに協力します。」とコメントしました。

「アーバルがダイムラーAGの大株主になってから2社の協力体制は模範的であり、既にテスラ社へ共同出資も果たしています。アーバルは今後もこの分野で成功を収めることに自信を持っています。」

「フォーミュラワンは最近初めてアラブ首長国連邦で開催され、アブダビ GP は素晴らしい成功を収めました。来年は天才的なロス・ブラウンが深く関わり、自動車技術分野では世界で比類なきメルセデス・ベンツが支援する自分達の車が参戦することを考えるととてもエキサイティングです。そのことを考えるだけでも大変嬉しく、自分の国を誇りに思います。」

・アラブ首長国連邦の投資会社アーバル・インベストメンツはダイムラーAG株式の9.1%を保有する筆頭株主です。